

教務だより 一期一会

H28.号外(2期末前)

発行日：平成28年11月14日
発行者：熊本県立苓明高等学校
熊本県立天草拓心高校本渡校舎
教務部：赤池

1. 生徒が頑張った文化祭

11月10日(木)～12日(土)の3日間で、文化祭が開催されました。私は、この学校に来て6年目ですが、年々よくなっているように感じます。

1日目はステージ発表でしたが、感動する部分が多々ありました。郷土芸能部は以前に比べると人数が減りましたが、それを感じさせないくらい立派な発表でした。1年食品科学科は、伴奏無しの合唱をしましたが、リズム感があり、全校生徒の前で堂々と発表していました。書道クラブは、文化祭前日に「上手くかけない」と悩んでいた部員もいましたが、さすが本番に強い苓明・天拓生、みごとに立派な作品を作り上げました。1年普通科は、パソコン操作が好きな池田君が編集した「バカッコイイ動画」を上映しました。みんなを楽しませる動画になっていました。3年普通科は、様々な作品の名場面を天草弁で演じた動画を上映しました。感情を込めるのが難しそうでしたが、3Bならではの作品になっていました。保健委員会は、4月に発生した熊本地震を題材に、スライドを使って発表しました。保健委員は毎年素晴らしい発表をしますが、今年度もメッセージ性があり、とてもよい発表でした。毎年恒例の生徒会企画、師弟対決では、普通科がバイク対決、商業科がタイピング対決、生活科学・生活情報科がフルーツを切る対決、食品科学科がケーキのデコレーション対決、園芸科学・生物生産科が腕相撲対決でした。普通科と食品科学科が生徒の勝利、商業科と生活科学・生活情報科が職員の勝利で、園芸科学・生物生産科が最終対決を迎え、3年園芸科学科の岩下君が勝ち上がり生徒が勝利しました。結果、2対3で生徒が勝利して幕を閉じました。吹奏楽部は、部員が少ないため、吹奏楽経験の教師も混じって演奏し、やさしい演奏で楽しませてもらいました。演劇部の堂々とした演技で特に印象的だったのが、1年生活科学科の藤本君です。声も出ており、楽しそうに演じていました。3年生活情報科のファッションショーでは、自分で作成したワンピースやドレスを着て、堂々とランウェイしました。3年間努力して来た結果が、全てに出ていて感動しました。今年、私が一番感動したのは、1年音楽選択者の発表です。男子と女子の音量のバランスがよく、ハマっており、とてもキレイなハーモニーでした。何よりも、一生懸命気持ちを込めて歌っていました。素晴らしかったです。

2日目は、収穫感謝祭と3日目の準備でした。私は、体育館設営で園芸科学科と商業科の準備を見ていましたが、どちらも3年生が的確な指示を出し、1・2年生が指示通りに動き、滞りなく準備を行っていました。現在の3年生を1年生の頃から見てきましたが、3年間で成長を感じました。

3日目は、一般公開でした。販売の様子を見て回りましたが、どの生徒も活き活きと動いていました。大人の私でも、お客様と接するのは緊張するものですが、みんな笑顔で声を出しながら、接客をしていました。実際に、多くのお客様に接して、自分達の商品を売ること、商売の厳しさや楽しさを感じることができたのではないのでしょうか。早々と売り切れた団体と、売れ残った団体とあったようですが、それも勉強です。

この3日間で、苓明・天草拓心生全員が少なからず成長しました。この3日間で得たことを、ぜひ、自分の将来に活かしてほしいと思います。記憶に残る文化祭でした。

2. 2学期期末考査が始まります

2学期期末考査4日前になりました。この期末考査で2学期の成績も算出されます。文化祭気分が抜けない人もいるかもしれませんが、しっかり気持ちを切り替えて勉強をしましょう。間に休日(23日)が入りますので、計画的に勉強してください。

《期末考査時間割》

	11月18日(金)	11月21日(月)	11月22日(火)	11月24日(木)	11月25日(金)
6					
1					
2					
3					

計画的に勉強しよう!!!

3. 行動しないと何にも生まれない

「自分は数学ができない」と言う人がいます。見ていると、授業中も手を動かさず止まっていて、まさしく“思考停止”状態。そんな子にも、友達が懇切丁寧にやり方を教えてやり、なんとか1問、2問と解けるようになり授業を終えます。普通科以外は、週に2～3時間しか授業が無く、次の授業までに時間が空くため、解き方を忘れないように課題を課します。そんな大した量でも、難易度でもない課題です。そして、その日授業で取り扱った内容です。次の授業で「数学ができない」という人と、「得意じゃないけどなんとか解ける」という人の原因がはっきりします。それは、課題に立ち向かったかどうかです。「自分は数学ができない」と感じている人の9割は、課題を解いてきていません。数学ができる人間から言わせてみれば、「そりゃーできるわけねーよ」(少々口が悪いですが…)です。私は、数学教諭ですが、最初から数学ができたわけではありません。もし、「難しいから、わからなくていいや」と投げ出していたら、今ここにはいないと思います。「難しい」「わからない」と感じたとき、「〇〇してみたい」と感じたときに行動を起こさなければ、その先はないのです。毎回、課題を提出できない人、一度でいいから、行動(教科書やノートを見ながらでも解いてみる)を試みませんか?きっと、その先の道が開けると思います。理解力がある人には劣るかもしれませんが、確実にできることが増えてくると思います。今回は、数学の課題のことで書いてみましたが、日常生活全てにおいて言えることです。口先だけで理想を語り行動を起こさなければ、何もしていないのと同じです。0(ゼロ)からは何も生まれません。成し遂げたい何かがあるのであれば、発言するだけではなく行動することです。